

受付No.

## 2026年度 アートによる地域振興助成（研修助成）

\*「研修助成」は当財団の助成を受けたことのある団体に所属する個人向けのものです。

公益財団法人 福武財団 理事長 福武英明殿  
募集要項に則り、本応募用紙に記載した通り、標記助成に応募いたします。

## &lt;研修者の所属団体プロフィール&gt;

団体名	瀬戸現代美術展実行委員会				
住所	〒489-0814 愛知県瀬戸市末広町1丁目31-6 Barrack				
団体区分	任意団体	スタッフ数	10名		
代表者氏名(カナ)	コンドウカナコ	役職	代表	年代	30代後半
代表者氏名	近藤 佳那子				
団体URL1	https://cafebarrack.com/scae/				
団体URL2					

※助成に関する諸手続きの連絡担当者の情報を入力してください。研修を受ける人とは別に実務担当者がある場合はこちらに記入してください。

申請者氏名(カナ)	ブンヤ ユカリ	役職	監事	年代	40代前半
申請者氏名	文谷 有佳里				
連絡先	e-mail: cafebarrack@gmail.com	電話番号	070-8480-7192		
住所 (書類の送付先)	〒489-0865 愛知県瀬戸市山口町24-1				

## &lt;研修者の略歴&gt; ※専門教育や職歴、アートプロジェクト等の運営経験や当時の役割を記載してください。

氏名(カナ)	氏名	役職/肩書	年代	略歴
コンドウカナコ	近藤 佳那子	瀬戸現代美術展実行委員会代表	30代後半	
年(西暦) 月	略歴			
2019年9月	ディレクター:「瀬戸現代美術展2019」旧産業技術総合研究所中部センター瀬戸サイト/愛知県瀬戸市			
2021年3月	ディレクター:「ストーリーミング・ヘリテージ 2021 spring 台地と海のあいだ」納屋橋エリア/愛知			
2022年3月	ディレクター:「瀬戸現代美術展2022プレエキシビジョンElements」旧祖母懐小学校/愛知県瀬戸市			
2022年9月	ディレクター:「瀬戸現代美術展2022」菱野団地各所/愛知県瀬戸市			
2023年10月	ディレクター:「PARCO Wall Gallery NAGOYA」パルコ名古屋(主催:パルコ名古屋)			
2024年7月	ディレクター:「次世代アーティスト企画展 日光浴 大野瑠菜」市民ギャラリー栄8階9展示室/愛知			
2024年10月	ディレクター:「Funny Boneと移動する日常」大阪府茨木市各所(主催:茨木市)			
2025年10月	ディレクター:「瀬戸現代美術展2025」尾張東卸売市場/愛知県瀬戸市			

## &lt;福武財団の助成実績&gt;

助成を受けて活動した年度
2025年度

## &lt;その他の研修対象者&gt;

氏名	年代	所属団体での役割	研修で予定している学びの内容
古畑大気	30代後半	副代表	他団体の運営チームの役割分担や財源確保のノウハウなどを学びたい。
文谷有佳里	40代前半	監事	他団体の運営チームの役割分担や財源確保のノウハウなどを学びたい。

< 研修の目的と意義 >

1. 研修の目的と意義

あなたが関わるプロジェクトの概要とゴールイメージ	愛知県瀬戸市は、国内外で精力的に発表し高い評価を受けている現代美術作家が数多く拠点を持つ稀有なまちである。窯業を中心に育まれた瀬戸の地に根付くものづくりの歴史を体感しながら、瀬戸を制作の拠点とする現代アーティストと共にリアリティを持って展覧会を開催する「瀬戸現代美術展」を2019年に始め、その後3年に1度の頻度で継続的に開催し続けることで、展覧会やイベントを通して街と作家との関係をつくり、やきもののみではない瀬戸の新たな価値・文化を創造することを目指す。
現状分析と課題設定（今回の申請に至った経緯や背景、自身のプロジェクトの定量・定性的な評価に基づいた課題意識）	これまで、展覧会の運営に実際に関わる人員確保や、チーム内の役割分担など、業務の量や準備のスケジュールなどに無理がある事が多かった。チームメンバーのそれぞれが他に仕事をしながら展覧会を準備し運営するためには、役割分担やコミュニケーションの取り方などのような工夫をすればよいのかと悩んでいる。また、資金の確保もクラウドファンディングや企業協賛、助成金など毎回ゼロから集めるため、次回も同様に集まるかどうかの不安がある。
課題を受けての大方針（課題解決の方向性）、研修助成で学びたいこと	他団体の組織づくり、役割分担、資金確保の実例を学び、次回の展覧会「瀬戸現代美術展2028」の開催に生かしたい。

2. プロジェクトの中長期計画

今回の研修を経て、プロジェクトが目指すゴールイメージへのステップを「活動内容」にお書きください。（現時点の状況で構いません）

年（西暦） 月	活動内容
2025年11月	「瀬戸現代美術展2025」会場搬出作業
2026年3月	「瀬戸現代美術展2025」展覧会カタログ入稿、収支決算書作成
2027年10月	「瀬戸現代美術展2028」会場さがし
2028年4月	「瀬戸現代美術展2028」参加作家、会場決定
2028年10月	「瀬戸現代美術展2028」開催

3. この研修により、あなたが関わるプロジェクトにどのような効果がもたらされますか？

達成したい目標を、定性（状态的な目標）、定量（数値の目標）の観点を含めてお書きください。

<p>他団体の組織づくりや資金確保のノウハウを具体的に学ぶことで、2028年秋に開催予定の「瀬戸現代美術展2028」の運営で活かせることを実際に実行する。体力的に無理の無い運営ができるようになれば、瀬戸現代美術展を今後も継続的に実施し続けられるであろう。</p> <p>我々の目指すところは、自分たちのまち瀬戸市で新しい文化を創造することであり、そのためには継続して展覧会を実施し続けることが何よりも大切であると考えている。</p> <p>（追記）</p> <p>※研修先として、別府プロジェクトが第一希望です。（収支内訳書の交通費は、別府プロジェクトに行くことを想定して記入しました。）もし採択していただけたら、研修先についてはご相談させて頂きたいと思ます。</p>
--

